

プロローグ

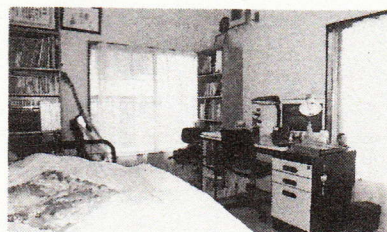
混信を撃退するには指向性を利用するのが一番

聞きたい番組に邪魔が入ってくる時の悔しさ。これはどんなリスナーにも経験があることだと思う。そんなリスナーの悩みを一気に解決するという、夢のようなアンテナが発売された。それはミズホUZI9DX。値段は1万9千円とかなり高め。今月はこの新型アンテナのモニターを中心に、混信撃退のテクニックを紹介していくと思うところへ前のページにあ

るようなハガキが。隊長どうしよう。「せっかくのご招待ですから、彼の家でやってみましょう」



と云うことで、今月は埼玉県浦和市に住む竹田豊クンの家で混信撃退アンテナのモニターを行なうことにした。



きれいに片付けられている豊クンの部屋

と、友だちの小機ケンと山下剛クンが待っていた。
「よろしくお願いします」
「こちらこそよろしくね。と言っても時間はまだ3時半。遠距離の混信が起こるまで時間があるね」
そこでモニターを始める前に、混信撃退のノウハウと新型アンテナの原理について説明しておく。

混信を撃退する基本は混信してくる局の電波を弱めること。弱めると言っても、電波を出している局の送信所に細工を加えるわけにはいかない。そこで左のイラストのように、混信している放送が一番聞こえにくくなる方向にラジオのバーアンテナやループアンテナを向ける。これが今までレスキュー隊が教えてきた混信撃退の方法だ。

レスキュー要請者プロフィール



たけうちゆなカ/1969年1月9日生まれ。現在は私立大学の農獣医学部に通う大学生。高校生の頃はNHK浦和のフリクの常連。現在はTBS「サーフ&スノウ」やFMの音楽番組を中心に聞いている。好きなアーティストは渡辺美里に種とも子、遊佐未森。1カ月に2回はコンサートに出かけているB型。

今月のオブザーバー



高校時代のフリク仲間の小機ケン(左)と山下剛クン。どうしても掛原隊長のテクニックが目に見たいと、押し掛けてきた。

上が豊クンの家。彼の部屋は2階の一番左。近くには畑や林が残っている

これが混信撃退アンテナUZI9DXだ

上の写真を見ると福引の箱みたい形をしていて、思わず回したくなる衝動



アンテナ本体につないだ結合コイルをラジオの側に置く



聞きたい局が強く聞こえるようにダイヤルをチューニング



付属のこのアンテナをつなげばループアンテナに早替わり

